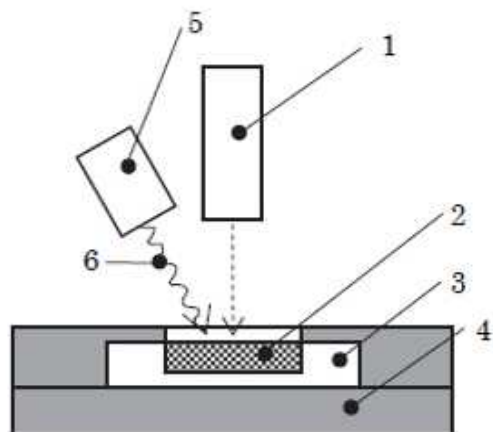
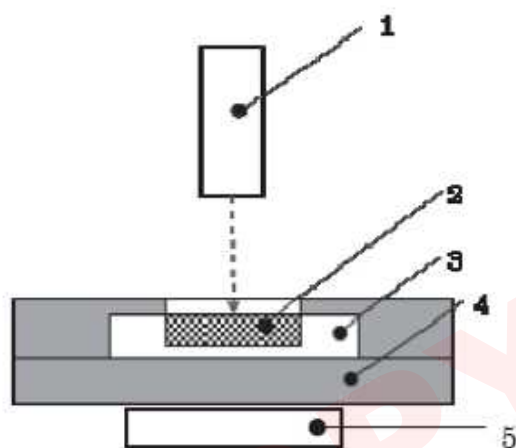


硬化収縮率測定装置は、測定容器、変位計、紫外線照射装置、加熱・冷却装置、測定台などから構成する。紫外線硬化樹脂に対応した装置の構成例を図3に、熱硬化樹脂に対応した装置の構成例を図4に示す。



- | | |
|---------|------------|
| 1: 変位計 | 4: 測定台 |
| 2: 試料 | 5: 紫外線照射装置 |
| 3: 測定容器 | 6: 紫外線 |

図3—紫外線硬化収縮率測定装置の構成例



- | | |
|---------|------------|
| 1: 変位計 | 4: 測定台 |
| 2: 試料 | 5: 加熱・冷却装置 |
| 3: 測定容器 | |

図4—熱硬化収縮率測定装置の構成例

5.3.2 測定容器

体積及び寸法が明確な容器を使用する。正確な測定を行うために、硬化後に底面から樹脂の剝離が起こらない材質か、又は壁面に試料が吸着しにくいものを用いる。また、容器形状は、その容量又は体積を計算しやすいように、容器底面が平滑で円柱状のものが望ましい(図5参照)。



a) 断面図



b) 平面図

(容器仕様例)

- 深さ 0.5 mm~3 mm
内径 10 mm~15 mm

図5—測定容器